



**AWAJI
PRESS**

45th Anniversary

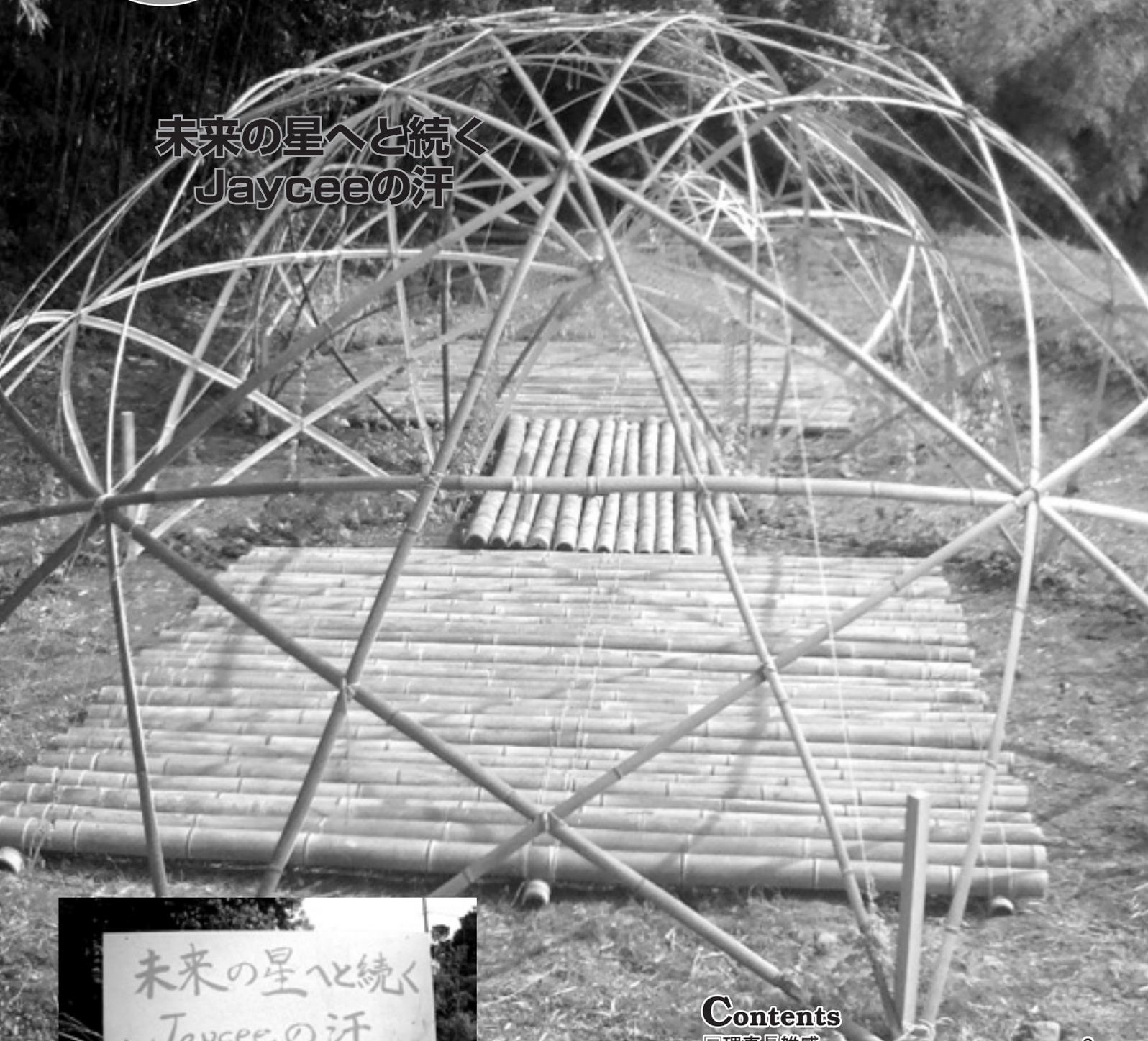
2007年度スローガン

確かめよう 淡路の礎
そして45回目の変革



2007 vol.7

未来の星へと続く
Jayceeの汗



Contents

□ 理事長雑感	2
□ シリーズ歴代インタビュー	3
□ 事業報告・事業告知	4・5
□ 新入会員・編集後記	6



雑感

2007年度理事長
木下 学

7月となりました。梅雨とはいいながら暑い日が続いております。四国の水がめ早明浦ダムの貯水量も若干回復したとはいえ、まだ貯水率は30パーセント台で渇水傾向が続いています。長期予報によると今年の夏は例年以上に暑い日が多そうです。渇水については心配ではありますが、天気同様、我々も熱いJCI運動を展開したいところでございます。

さて、あつという間に過ぎた感のある6月でしたが、まず例会においてはコーチングをテーマとする例会が行われました。自己分析を行い、自分の長所、短所を知る。その上で短所を克服する方法、またその長所を持つ人が陥りやすいポイントを知る事を行いました。

人の性格は色々なパターンがあります。そのパターンにあわせたコーチング方法で、個々が持つ潜在能力を顕在化させることは組織力アップの為にとても重要なことであることを改めて気づかせていただきました。

例会委員会の皆さんお疲れ様でございました。続く21日には45周年記念ゴルフコンペを開催させていただきました。21日には45周年記念ゴルフコンペを開催させていただきました。ユールの中、素晴らしい設営をしていただきました45周年企画委員会の皆様には心より感謝を申し上げます。楽しいひとときをOBの皆様と共に過ごすことが出来たと思います。合わせてコンペに花を添えていただきました。林佳世子、松原麻美両プロに対してもメンバーを代表して心より感謝を申し上げます。また月末の30日には研修事業が開催されました。天候も心配されましたが、大自然の中でそれぞれが個々の役割をしっかりと果たしていただき、素晴らしいものを制作することが出来

ました。淡路JCIの組織力を高めることの出来た素晴らしい事業を展開いただきました。Jaycee研修委員会の皆さんに心からの敬意を表すと共に、御礼を申し上げます。

さて現行の公益法人制度を抜本的に見直した公益法人制度改革関連3法が、昨年5月に成立されました。現行の公益法人は、新しい法律の施行後は特例民法法人として5年間に限り存続しますが、その間に、公益社団法人が一般社団法人に移行する手続きが必要であるというものです。税との関係でも、政府の税制調査会等において、公益性の認定を受けた法人については優遇する方向で検討されています。当然「明るい豊かな淡路島づくり」を標榜している私共は公益社団法人を取得する方向で進んでいくものであります。では取得する為には何をしなければいけないのか。よく事業費が総予算の50パーセントを越える必要があると言われます。もちろんそれも大切なことではありますが、それに加え対外事業以外にも公益性、すなわち社会のお役に立つような工夫をすることが必要となるでしょう。JCIの3信条は「修練・奉仕・友情」と記されていますが、まずは「社会への奉仕」であります。「奉仕・修練・友情」という順番を忘れることなくこれからもしっかりと活動が続けてゆきたいと考えます。

今月はいよいよ次年度の役員を決める選考委員選出選挙が行われます。素晴らしい組織が生まれることを念願すると共に、2007年度に対しても残り半年、変わらぬご支援、ご協力をお願いし、7月の理事長雑感とさせていただきます。



シリーズ「周年」
歴代インタビュー
vol.4

第30代理事長
大石吉成
先輩

今年度、創立45周年を迎える社団法人淡路青年会議所。その45年間の歴史の中で周年の節目に理事長を経験された歴代に当時の思い出や周年について、そして現役メンバーへの熱い思いを語って頂きました。

45周年記念式典に出席頂いた感想

今の若いメンバーが、昔から変わらない淡路J.C.のいい部分として、きちりとやるべき事が出来ていたと感じました。

周年というのはO.B.を含めた自分達の誕生を祝う会です。だから30周年の時には身内でやるものは身内でお客さんに来て頂く部分はお客さんと、といった風にきちりと区別をしました。

それまでは全と一緒にやっていた歴代への感謝状といった身内の事は事前にやろうということで記念例会を初めたのも30周年が最初でした。来て頂く方に迷惑をかけないようにする事が大事でした。

「意識」する

J.C.においては自分達がどのように変わっていくか、成長をしていくかを「意識」する事が一番重要でしょう。今はそれぞれの会社が大変な時期で「J.C.をするべきか？」と親も従業員もそして本人も思っているメンバーが多いと思います。

我々の時代とは淡路の経済情勢が全然違うから、今のメンバーに我々と同じ時間や金の使い方をしろと言っても当然無理でしょう。

しかしJ.C.の基本や原則と言った部分は変わらない訳ですから、その時代にあった形で活動はできるし、するべきだと思えます。

J.C.のメンバーというのは、社長であったり、その息子であったり・・・それぞれが会社において責任を持っている、もしくはこれから責任を持つ人間が集まっています。

言うなればベンコな奴が集まっているわけで、その中でいかに自分がリーダーシップをとれるか、男の上に立つ事が出来るか。J.C.はそういう基本を学ぶ場所です。

それがあって初めて「地域をどうするのか」と言った事を考えるのが本来の姿でしょう。

ではリーダーに求められている物はなにかな？

リーダーシップの原則、それはただ一つ「指し示す」事です。

「自分達のグループの行く末を指し示す」「わかりやすくメンバーに語る」そして「みんなの気持ちを一つに

持っていく」これがリーダーの役割でしょう。

それは当然会社でも一緒で、自分の会社が「3年後どうなる、5年後は...」と言ったビジョンを持つ事が大切ですが、しかし、そういう事を言える会社は残念ながら今の淡路では少ないです。

ですがそれではリーダーとして失格です。

金融機関にしてもそのような会社にお金を貸せるはずがありません。

「うちの会社はこうします」「3年後はこうなっています」「その為にはこうします」と言った事ははっきり言えない経営者は指導者ではありません。

現役のメンバーは今のJ.C.に魅力を感じていますか？ **そしてJ.C.を語る事ができますか？**

昔はいい意味でも悪い意味でもJ.C.はよく目立っていました。

事業をやれば新聞社が飛んで来るといった感じで影響力が本当に大きかったです。

もちろん反発も大きかったけれど...今は反発もなごいのでしょうか？

反発する程の事をやって無いから影響力が無い。

昔は新入会員が来たら「かっこいいな」「おもしろそうやな」と必ず入会していました。

これからはJ.C.を語るメンバー、そして淡路の経済をも語る指導者、魅力のあるメンバーが必要です。

私が入会したきっかけは中川先輩で、よくかわいがってもらいました。

しかし中川先輩が卒業した後、3年目でやめようと思いきや中川先輩の所へ相談に行きました。

するとすぐ怒られて「おまえがおもしろくないと言う事は、周りも後輩もみんなおもしろく無いはずや。おま

えが思うようなJ.C.を創れ」と言われました。

その時に「なるほどな」と考え直して又J.C.をやり出しました。

J.C.がおもしろく感じたのは自分で理事をやり出した時です。

メンバー全員が同じお金を払って平等の権利がある中で、理事長や副理事長や委員長やといっていくかにメンバーに動いてもらえるか、人の上に立たせてもらえるか、これを勉強するのが大事です。

長になって初めて責任が出てきますから当然J.C.は長をしないとおもしろくありません。

長が苦痛と感じるのは自分のやり方が悪い訳で、J.C.をきちり出来る男でないと経営者としてもやっていけないでしょう。

指導者自身がアンテナを広く張って、知識をいろいろと蓄え、もつと努力するべきです。

もつと頭を使って、足を使って・・・だからJ.C.に入ったからには勉強をして、気づき、自分を磨いて、指導者として会社そして世の中に役に立つ男になるといった「意識」が必要です。

そういった事を意識せず、自覚もせずに入会して、卒業をするのはかわいそうですし、もつといたい事だと思いませんね。

現役メンバーへ

とにかくJ.C.は絶対自分自身にプラスになる事は間違いありません。

卒業があるといった限られた期間、そしてよく似た立場のメンバーの中で、自分自身が意識をして自分の器を磨いて大きくし、会社や地域に帰って貢献をする。

「意識をする事」「人に対して影響力のある男になる事」そして「J.C.に入った以上は理事長を目指して頑張る事」が大事だと思います。



45周年杯争奪メモリアル ゴルフ同好会 30周年記念ゴルフコンペ

45周年企画委員会 高津 知也

去る6月21日(木) 洲本ゴルフ倶楽部におきまして、第2回ゴルフ同好会「45周年杯争奪メモリアル」ゴルフ同好会30周年記念ゴルフコンペ」が行われました。社団法人淡路青年会議所創立45周年&ゴルフ同好会設立30周年の記念コンペとあつて総勢53名のOB・正会員の方々にご参加いただきました。梅雨時期とあつて心配していた天気も日頃の行いが良かったせいか、晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和となり参加された皆様には楽しくラウンドできたものと思えます。また、今回は記念ゴルフコンペということでスペシャルゲストとして林佳世子プロ、松原麻美プロにも特別参加していただき、ほぼ参加者全員とラウンドしていただきました。女子プロ二人には、ラウンド中3ホールごとに組が変わるといふ勝手なお願ひにも快くお受けしてい



ただき、素晴らしいプレーはもとより、同伴競技者への気配り、的確なアドバイス等多くのご指導をしていただき、また懇親会、二次会にもご参加していただき、心より感謝申し上げます。参加者の方々もたいへん喜んでおり本当にありがとうございました。プレー終了後、淡路夢泉景において懇親会・表彰式が行われ、優勝は明石和男先輩(OUT44 IN46)が見事45周年杯優勝カップを勝ち取られ、オーストラリアアヘア旅行券を獲得されました。優勝スピーチでは「次回からゴルフ同好会に必ず参加する」とおっしゃられておりました。また、今回特別企画として7番ホールにおきまして、ホールインワン賞・ニアピン計測

事業報告

を設営したところ、ホールインワン賞は残念ながら獲得者はいませんが、ニアピン賞は2m00cmのすばらしい成績で杉浦直前が獲得されました。

最後になりますが、長い一日ではございましたが、ゴルフに参加していただいた方、懇親会から参加していただいたメンバの皆様本当にありがとうございました。この場をお借りし御礼申し上げます。

- 1位 明石 和男
- 2位 琴井谷隆志
- 3位 松本光之進

ベストドレッサー賞
斎藤 新太
池澄 泰彦



ベストドレッサー賞

Jaycee 研修事業

「Jayceeの江が星になる」

Jaycee 研修委員会 副委員長

大畑 一也

去る6月30日、プレーパーク淡路島冒険の森にて、Jaycee研修事業「Jayceeの汗が星になる」を開催いたしました。

当日は空模様が悪くなりましたが、見事に晴天となり、スタードームの製作が行われました。組織として、メンバー一人ひとりに課せられる役割と、責任の重要性、今回の研修事業は、それを認識、体験することによって、組織力の向上を図るものですが、その目標は達成できたのではないかと感じています。

スタードーム製作にあたり、竹の伐採、下地の整地、加工組立といった重労働、また、三役関係の方々にメンバーの昼食も作っていただき、



午後からの製作開始となり、タイトな時間配分でした。合計3基のスタードームを作成しましたが、すべてすばらしい出来であったの一言に尽きると思います。

6月は過密スケジュールであり、月末の多忙な日程であるにも関わらず、多数のメンバーにご参加いただけましたこと、本当にありがとうございました。

地域ミーティング

地域のアイデンティティ創造会議
才花議長セクレタリー 池澄 泰彦

去る、6月29日(金)神戸のラッセホールにおいて、『地域ミーティング1 兵庫県・県民局との地域のアイデンティティ創造 懇談会』が開催されました。

本年はこれまでの取り組み、現在の取り組みも踏まえた中で我々の子どもたちに残すべく「未来」の「まち」のあり方、地域のアイデンティティを創造するためにミーティングを持ちたいと考えています。

また、当日は自分たちの地域以外の県民局の皆様とも懇談を計れ、我々の目指すまちづくりの実現に向けて、新たな情報収集、県民局とのパイプ作りの一助とすることが出来ました。

これからは各地域のアイデンティティを活かしたまちづくりの創造に向けて県民局単位でミーティングを開催させていただき、何卒、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



6月コーチング例会 報告

6月13日 洲本市文化体育館にて6月コーチング例会が行われました。今回はコミュニケーション能力を、臨床心理学を応用したTA(交流分析)を学び、「自己を知り、相手を知る」ことでリーダーとしての自己を向上させることを目的とするTAセミナーとして、JCI公認トレーナー 井上利一先生、石浜紅子先生、秋田和孝先生にお話しいただきました。

笑顔がたえない例会でしたが、セミナー内での自己分析の結果に納得いかないメンバーや大きくうなずいているメンバー、あまり気にしていないメンバー等々を見て本当に多様な人間が淡路JCIにいる事を実感しました。

この日限りの結果では無く、分析を定期的にチェックし、自己が今どのような状況でどのような心理状態なのか?そして欠けている部分は何かを知る一つのツールとしてこれからも活用し、真のリーダーとなるように努力できればと思います。皆様おつかれさまでした。



事業報告・告知

2007年度近畿地区会員大会 京丹後大会

総務広報委員会
委員長 上河 護

去る7月7日(七夕)に2007年度近畿地区会員大会京丹後大会へ行つて参りました。

大懇親会への参加でしたが会場はなんと浜辺(八丁浜)！しかもテントでの設営に梅雨時のこの時期に：なんて挑戦者(チャレンジャー)なつ：しかし、近畿地方南部はくもり雨ですが会場は晴れくもり、これはやはり準備がきちんとできていからなのでしょう。その後ブロックナイトに顔を出して日本海から瀬戸内海へ帰路につきました。

それにしても近畿最北端の地、京丹後は遠いですね！



わんぱく相撲

全国大会壮行会

青少年育成委員会
副委員長 仲野 正倫

『第13回わんぱく相撲淡路場所』の4～6年生の優勝者3名のちびっこ力士が7月28・29日に両国国技館にて行われます。『わんぱく相撲全国大会』に向けて7月3日洲本市役所、7月5日淡路市役所において壮行会を行っていただきました。

4年生の東根君、5年生の上杉君、6年生の喜多君はそれぞれ全国大会への熱い思いを市長に報告し、市長からは激励の言葉をいただきました。3人とも優勝めざしてがんばれ!!! (洲本市長・喜多君写真提供・神戸新聞)



淡路島まつり踊り大会

会員委員会委員会
副委員長 原田 啓行

来る8月4日(土)に毎年恒例の淡路島まつり踊り大会に参加をいたします。

これが淡路JCIの阿波踊りだ！というところも見せつつ、対外事業について大いにPRを行い、今後の弾みにできればと思っております。踊り終了後の懇親会も、ヒロイズム全開の楽しいひとときを過ごしていただけるよう趣向を凝らしたものに予定です。

お忙しいとは思いますが奮ってのご参加お待ち申し上げます。





甚尾篤弘 憧れの島創造委員会 S.52・6・22生 A型

①今年度無事に正会員として承認され入会することが出来ました。淡島水道工業術の甚尾篤弘と申します。淡島商事術という鐘紡の子会社があり祖父が淡路の所長として勤務していました。昭和29年に倒産、引き続き個人営業として淡島水道を起こしました。昭和30年、洲本市の水道事業所と共に公認業者制度実施し、洲本市水道事業の第一号公認業者となり、昭和33年に淡島水道工業術へ改名し現在に至っております。

大阪の関西外国語大学の木本棟工事や滋賀のNEC工場建設等の現場へ連れて行つてもらい、5年間様々な経験をさせて頂きました。そして、滋賀に住んでいられる際に現在の妻と出逢いがありました。付き合い始めて間もなく子供を授かり結婚し、出産と同時に淡島へ帰つてまいりました。今現在は洲本市内には妻と4歳の娘とお腹に7ヶ月となる子供で暮らしていますが、趣味は色々あるのですが、基本的には動くことが好きで、車の改造、スノード（最近ではしてないのですが）とか、全土手くならぬのですがゴルフが好きです。性格は明るく、前向きです。ただし人見知りをしてしまうところが、緊張しやすい性格です。こんな僕ではございますが、これからこの淡路島が盛り上がるにいき、もつと活気があふれる魅力を感じるよう出来れば良いなと思っております。

②僕の心に残る言葉は「意欲 努力 進歩」という言葉です。この言葉は僕の母校である柳学園高等学校の教育方針として掲げている言葉です。僕は高校在学中3年間、陸上部に所属しており、この「意欲 努力 進歩」の精神をもつて頑張ってきました。そして、社会に出てから高校時代に培った「意欲 努力 進歩」を忘れずにやって行こうと考え今日に至っています。これからもこの言葉を忘れることなく日々前進していきます。

③入会の動機は二回目の入会説明に参加してから決めました。一回目の時も入会しようと思っていたのですが、諸事情があり入会することが出来ませんでした。しかし、二回目の際にJIC活動の映像を見せて頂き、凄く心が動いたのを覚えております。そして、例会や委員会に参加した際や仕事の合間に諸先輩方より色々なアドバイスをして頂きました。そこで僕は、JIC活動はきっと自分を今よりもっと大きくさせる事が出来る場だと思いい入会を決意し今日に至っております。



滝本佳範 例会委員会 S.47・11・29生 A型

①初めまして滝本佳範です。私は(株)滝本と関連会社である(株)イー・ウォーターに勤務しています。安心で安全な水道水を安定して皆様に届けるために各市の水道事業所と共に仕事をしています。言い換えれば各水道事業所の「いい水づくりのお手伝い」です。公営企業である水道事業は水を浄水処理し皆様に届け、代価として料金を頂く事業です。具体的には、当社の業務は浄水場の維持管理、水道料金の収納、検針業務、水道管の維持管理に携わっています。今は水道関連の仕事をしていきますが、私は物を造る事が大好きで昔からあまり勉強をせずにプラモデル、ラジコン飛行機また絵描きに没頭してました。

大学は建築科に入学しデザインを勉強してました。学生時代は課題である設計で図面を描いては模型を造って頻りに仲間と徹夜していたのを覚えています。また当時勉強の一環でヨーロッパバックパックを背負って一周して、感動の連続だったのを記憶に残っています。大学卒業後は学識を深めるために英国のロンドンに留学しました。多くの国籍の学生と知り合いになりました。非常にいい経験でした。帰国後は東京の設計事務所働き、淡路島の家業に就き現在に至っています。

②「心配事の96%は時間の無駄」ウェブで見つけた言葉です。考え込む性格のため無駄に時間や神経をすり減らしています。これからは直感と本能で行動したいです。

③携わっている業界が変革と困難な時期であり私自身が模索する必要があります。

①自己PR ②心に残る言葉 ③入会の動機

新入会員紹介

④JCで学びたいこと ⑤あなた自身を漢字一文字で表すと



①初めまして滝本佳範です。私は(株)滝本と関連会社である(株)イー・ウォーターに勤務しています。安心で安全な水道水を安定して皆様に届けるために各市の水道事業所と共に仕事をしています。言い換えれば各水道事業所の「いい水づくりのお手伝い」です。公営企業である水道事業は水を浄水処理し皆様に届け、代価として料金を頂く事業です。具体的には、当社の業務は浄水場の維持管理、水道料金の収納、検針業務、水道管の維持管理に携わっています。今は水道関連の仕事をしていきますが、私は物を造る事が大好きで昔からあまり勉強をせずにプラモデル、ラジコン飛行機また絵描きに没頭してました。



編集後記

蒸し暑くなってきました。寝苦しい夜にクーラーをいれるかどうかで葛藤してる日々ですが・・・

6月の周年式典以降だんだんあわただしくなってきました。例会、ゴルフ同好会、研修、近地区：と結構あるもんですね・・・

今月号は第30代理事長大石先輩にインタビューを頂きました。お忙しい中、月曜日に2週にわたって時間をとって頂き、本当にありがとうございます。

7・8・9月といよいよ夏本番、淡路JICも本年度のピークを迎えます。

みなさん夏バテをせずにがんばって乗り切りましょう！

JC NOW

・審議事項

- (1)第13回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件
- (2)5月健康増進例会事業報告並びに決算報告の件
- (3)新入会員承認の件
- (4)新入会員配属の件
- (5)2007年度選挙管理委員会設置の件
- (6)7月選挙例会の件
- (7)淡路島まつり踊り大会の件 [一部審議]
- (8)『あわじがいちばん!』～知ろう、学ぼう、楽しもう～ [一部審議] の件

・協議事項

- (1)8月会員親睦例会の件 [2/2]
- (2)9月淡路JCの礎例会の件 [1/2]
- (3)第49回臨時総会の件 [1/1]
- (4)第49回臨時総会提出議案の件 [1/1]
- (5)感動「島」体験！淡路島まるかじりフェスタの件 [2/3]
- (6)後期入会説明会の件 [1/2]

才花出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議議長)

7月14日(土) 第4回役員会(三木)

8月7日(火) 第4回委員会(龍野)

畑野出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿諸国歴史検証委員会)

7月21日(土) 横浜全体会議 場所：横浜